

2022 年度平和カンパをありがとうございます

チェルノブイリ子ども基金は、1991年からチェルノブイリ原発事故による被災地のウクライナとベラルーシの病気の子どもたちの支援を行っています。事故から37年が経過している今も、現地ではさまざまな病気の子どもたちが支援を必要としています。2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナ侵攻以降。ウクライナの人々はチェルノブイリ事故の影響と、戦争という、二重の被害を受けています。そのような中、みなさまから「平和カンパ」をいただきまして、まことにありがとうございます。「平和カンパ」の用途についてご報告いたします。

【甲状腺の患者たちへの支援】

戦争が始まってからしばらくの間、ウクライナ側のパートナーと連絡が取れなくなりました。そのため、私たちと同じように甲状腺の患者を長年支援しているスウェーデンのNGOと連絡を取り合い、そちらを通して支援金を送りました。支援金を受け取った家族からは、医薬品、食料品、日用品など、必要なものを買うことができたこと、お礼のメッセージと写真が届きました。

また、かつて子ども基金の保養プロジェクトに参加した甲状腺の病気の人たちのうち、連絡のついた人たちには、直接支援金を送金しました。30代半ばから40代前半という年齢の人たちです。ウクライナ国内にいる人、国外（チェコ、ドイツなど）へ避難した人もいます。ウクライナ国内に残っている家族を心配しながら、慣れない国外での生活を続けています。

【病院への医薬品の支援】

甲状腺の手術、治療を行っているウクライナの内分泌研究所には、2021年1月時点で6,242人の患者が登録されています。子ども基金は長年にわたり医薬品や医療機器を支援しています。今回も甲状腺ホルモン剤の支援を行いました。これは患者にとって生きていくのに必要不可欠な薬です。戦争の間もここでは患者の治療が続けられ、病院にやって来ることがない患者には、ボランティアが薬を届けているということです。

「チェルノブイリ子ども基金のみなさまへ

私たちの国の戦争（ロシアのウクライナ侵攻）という非常に困難な時期に、大変重要で不可欠なご支援をいただいたことに感謝いたします。

2022年半ばに再度いただいたご支援により、エウチロクス（甲状腺ホルモン剤）3,310箱を購入しました。この薬は甲状腺のさまざまな病状を持つ患者の治療に使用されます。患者たちは生涯にわたり毎日服用する必要があります。甲状腺の手術を受けたほとんど

の患者は、放射性ヨウ素治療を受け、エウチロクスによる治療と、内分泌研究所での定期検査を受けています。この薬を必要とする患者たちとともに、私たちはみなさんに感謝し、今後も協力関係が続くことを願っています。

2022年8月23日

内分泌研究所 所長 N.D.トロンコ

【病気の子どもたちの保養プロジェクト】

これまで毎年夏には、それぞれの国の放射線汚染地区に住む、病気の子どもたちのための保養プロジェクトを行ってきました。一定期間、汚染地区から離れて暮らし、そこで安全な食べ物をとりながら、適度に体を動かし、必要な治療を受けることで、子どもたちの免疫力を高め、健康回復に役立てよう、というものです。

2022年8月3日から26日、ベラルーシの子ども保養施設「希望」で、病気の子どものための保養プロジェクトが行われました。ゴメリ州の町や村に住んでいる24人（8～17歳）が参加しました。白血病、脳腫瘍、骨の腫瘍、腎臓がん、肝臓がん、目の腫瘍など、さまざまな病気のために、手術や治療を受けた子どもたちです。心に問題を抱える子どももいます。同じ辛い思いをしている仲間と一緒に過ごすことで、孤独から解放され、心が元気になっていきます。このことは健康回復にとっても大事なことだと、私たちは考えています。

2022年は戦争のためウクライナの子どもたちの保養ができませんでした。2023年は、放射能の心配がなく、戦争による影響が少ない、ウクライナ西部の山岳地帯にある子ども施設での保養を計画しています。この保養が無事に行えることを願っています。

私たちが長年支援を続けている子どもたちが暮らしている二つの国が、攻撃を受ける側と、攻撃に協力する側に分かれてしまいました。それぞれの国の人たちのことを思うと、やりきれない気持ちでいっぱいになります。しかし希望を失わず、平和を祈りながら、私たちのできる支援活動を地道に続けていきたいと思っています。

これからもご支援をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

チェルノブイリ子ども基金

〒177-0041 東京都練馬区石神井町3-16-15-408

TEL/FAX 03-6767-8808 E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

HP <http://ccfj.la.coocan.jp/>